

# 海外安全対策情報

【2025年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

また、日本国内でも多発している警察官等を名乗る特殊詐欺について、当地在留邦人にも電話し、個人情報、制服、身分証、逮捕状などを示すなどして警察官と誤信させインターネットバンキングを介して送金させる手口が発生しています。注意点としては下記のとおりです。

- 警察官等が突然スマホにビデオ通話やSNSで連絡することはありません。
- 警察官が警察手帳や逮捕状の画像を送ることは決してありません。
- 例え、ビデオ通話で身分証を提示されても絶対に信用せず、不審な電話等は一度電話を切って当館又は最寄りの警察機関などにご相談ください。
- 相手から教示された番号には、決して折り返さないでください。（詐欺は日々巧妙化し、手口は変わっていきます。）
- 実在する警察署等の電話番号を偽造して表示させる手口も発生しています。

## 1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが徹底されており、自分が飲酒後運転しないことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

## 2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間に盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意しながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華美な服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

# 海外安全対策情報

また、（特に酔った後など）日本語で大きな声を交わしながら歩かない。

## 3. 事件・事故報道

### (1) 凶悪・粗暴・薬物事件関連

#### ア 指名手配殺人被疑者の検挙（荷澤市）

10月6日、鄆城県公安局は、昨年荷澤市内で発生した殺人事件の指名手配被疑者宋某を逮捕したと発表した。

#### イ 事後強盗、違法薬物使用容疑（泰安市）

10月23日、バイクに乗車した被疑者の男性が犬を連れ去ろうとしたところ、通りすがりの市民による抵抗を受けたため、刃物を取り出して威嚇する強盗事件が発生した。さらに被疑者は薬物使用の疑いがあるとして、警察は事件をさらに捜査中としている。

#### ウ 覚醒剤輸送（済南市）

済南市公安局は、覚醒剤輸送事件により容疑者2名を逮捕、覚醒剤2.1kgを押収したと発表した。警察の発表によると、10月末、海外の薬物販売グループは、雲南省から遼寧省まで覚醒剤の運送を企て、覚醒剤を果物輸送大型トラック内に隠し、情を知らないトラック運転手は雲南省から湖南省まで運搬した。容疑者李某は、湖南省から遼寧省までの覚醒剤運搬報酬を3万元で引受け、レンタカーを運転して湖南省長沙へ向かい、上記果物輸送大型トラック内から覚醒剤を回収し、その後、共犯容疑者王某との合流場所である山東省済南市高速道路SAへ向かった。SAで張り込みしていた警察官は職務質問を行ったところ、容疑者李某は急発進し、停車中の大型トラックと衝突するなどの逃走を図ったため、拳銃による威嚇射撃によって容疑者李某を制圧し、後刻現れた共犯容疑者王某も逮捕した。

### (2) 窃盗事件関連

#### ア 居空き（済南市）

10月、済南市中公安分局十六里派出所は、金の腕輪を盗み、4万元で売却したとして容疑者張某を刑事拘留した。調べによると、容疑者張某は、知人関係である被害者李某宅を訪問した際、偶然金の腕輪に目が留まり、模造品とすり替え売却することを企て、別日に再度訪問し、犯行に及んだ。後日、被害者からの通報により事件の発生が明らかとなった。

#### イ 電動自転車盗（青島市）

11月早朝、遼寧路派出所は、果物が積載されていた電動三輪車が昨晚盗まれたとの通報を受理した。警察は防犯カメラ確認によって容疑者の足取りを捜査し、5日後、賃貸住宅に居住していた容疑者劉某を逮捕し、その場で被害品の電動自転車を押収した。

#### ウ 万引き（青島市）

11月、城陽分局刑事大隊は、果物屋店主からドリアンが盗まれたとの通報を受理した。防犯カメラ捜査により、容疑者の犯行、足取りが明らかとなり、警察は、容疑者宋某を自宅において検挙し、被害品を押収した。容疑者は犯行を認め

## 海外安全対策情報

---

るとともに同犯行の前後に電信詐欺チラシを配布した余罪事実についても自供し、警察は電信詐欺幫助の疑いについても捜査を進めている。

### エ 出店あらし（青島市）

11月未明、城陽公安局はスーパー店主から「現金と多数の煙草が盗まれている。」との通報を受理した。防犯カメラを確認したところ、容疑者は犯行前に営業中の店内へ入店し、店内の配置、監視カメラの位置などを下見しており、閉店後に覆面マスク、手袋を着用してペンチで窓を打ち破って侵入していたことが判明し、さらに人着から窃盗の前科を有する王某が容疑者として浮上した。翌日、警察は容疑者王某を自宅において逮捕し、犯行供用物、被害品の煙草100カートン等を押収した。

### オ ディーゼルオイル窃盗（青島市）

12月、夏荘派出所は、トラック給油量が異常に増加していると物流会社から被害相談を受理した。防犯カメラを確認したところ、物流会社の元従業員が深夜に会社敷地内へ侵入し、会社トラックからディーゼルオイルを窃取している状況が判明したため、警察は元従業員を逮捕した。元従業員は犯行理由について、会社を辞職してから仕事が見つからなかったが、元会社の構造を熟知していることを契機としてトラックからディーゼルオイルを盗んで売るとを思いつき犯行に及んだという。

### カ 空き巣（萊西市）

12月30日午前3時頃、店埠派出所は、留守中の自宅に不審者が侵入し、ノートパソコンなどが盗まれていたと被害者からの通報を受理した。警察は防犯カメラを確認したところ、窃盗の前科を有する容疑者劉某の犯行と判明し、同日、自宅において容疑者を逮捕し、被害品を押収した。

## (3) 詐欺事件

### ア 詐欺（平度市）

10月、ショートメッセージを利用した振り込み詐欺が発生した。調べによると、被害者張某は、自己の携帯電話に荷物到着のショートメッセージを受信したが、当該荷物が見当たらないことから同メッセージ記載の問い合わせ先へ電話したところ、相手方（被疑者）から誤操作により登録を解除しなければ自動的に課金されるなどと不安を煽られ、要求に応じて5.4万元を振り込んだ。さらに張某は振込を続けようとしたところ、詐欺防止センターから詐欺であることの電話連絡を受け、被害に遭っていたことが判明した。

### イ SNSなりすまし詐欺（青島市）

10月、青島鉄道警察は、SNS上でのなりすまし詐欺を働いた容疑者李某を検挙した。調べによると、容疑者李某は、微信アプリ上の音楽サイトでフィッシング詐欺によって第三者の微信アカウントを不正に取得・利用し、被害者楊某の知人に成りすまして被害者へ金銭の支払いを働きかけ約10万元を騙し取った。容疑者李某は、容疑を認めるとともに3件の余罪についても供述した。

### ウ 中国版警察官を語る詐欺（済南市）

11月、済南市歴下区において警察官を語る振り込め詐欺が発生した。被害者航

## 海外安全対策情報

---

某（10歳）は、快手アプリで見知らぬ男性とのビデオ通話が突如開始され、警察の制服を着用した男性から警察手帳の提示、逮捕の示唆をされたことより警察官であると盲信し、同人の指示に従って実母のインターネットバンキングを操作した。被害者実母は銀行口座の不正な取引を覚知、被害通報をきっかけに警察は17万元の当該取引を差し止め、被害の回復に成功した。

### エ ロマンズ詐欺（膠州市）

11月、膠州市公安局刑事大隊詐欺防止部門等は、ロマンス詐欺被害を事前に防止したと発表した。調べによると男性の被害者李某は、インターネット上で女性から友達追加申請を受けた後、チャット上で同人との恋愛関係へと発展した。女性は李某へ現金4万元の引出、指定場所での受渡しを指示したが、当該引出について詐欺の疑いがあると覚知した公安関係者は事前に李某と接触し、被害を未然に防止した。

### オ 電信詐欺（青島市）

11月、落陽路派出所は、ネットバンキングを利用した詐欺被害を防止したと発表した。被害者孫某によると、TikTok サービスセンターを名乗る人物から電話を受け、毎月高額なTikTok 会員費の自動引落しを停止するためにはアプリをダウンロードする必要があると唆され、指示に従ったところ、自身の携帯電話が遠隔操作されるようになり、22万元の自動送金被害に遭ったという。警察は、被害者孫某のSIMカード取外し、アプリの削除を行った後、銀行への緊急送金停止依頼を行い、全被害金の回復を実現した。

### カ 成りすまし詐欺（済南市）

11月、済南市天橋区公安分局は、ネットゲーム上において女性に成りすまして被害者に近づき、相手方の好意に乗じて送金させた詐欺事件を摘発したと発表した。被害者王某は、送金後に相手方と音信不通になったことから詐欺被害に遭ったと気づき、通報に至ったという。被害額は1万元余にのぼり、警察は「ネットゲームでは個人間取引は避けるべき。魅力的な人物像には警戒が必要。」と市民に注意喚起した。

### キ 詐欺（青島市）

11月、沙子口派出所は、管轄内の市民李某が詐欺被害に遭っている可能性があるとの詐欺防止センターからの通報を受理した。警察は、李某へ即時電話したところ、李某は消費者サービスを名乗る人物の指示に従って現金23万元を引出し、指定場所へ向かう道中だったと言い、説得の上、被害の未然防止に成功した。

### ク ギフトカードを利用した詐欺（青島市）

11月、平度市公安局は、大量の不審カード在中の荷物があると物流会社からの通報を受理した。警察が捜査したところ、同カードはカニのギフトカードであり、カード裏面には不審アプリダウンロードへのQRコードが掲載され、詐欺被害へと誘導されるようになっていた。警察は容疑者李某、于某を刑事拘留、ギフトカード1万枚余りを押収し、市民に対して「ギフトカード詐欺は、信頼構築を目的に初期に少額の利益還元を行い、最終的に一度送金すると戻ってこない。」と注意喚起した。

### ケ 詐欺幫助（青島市）

11月、城陽公安分局は、詐欺グループの掛け子を担ったとして容疑者王某等5人を電信詐欺幫助の疑いで検挙した。容疑者王某は、ネット上で見知らぬ人物から時給千元以上の電話アルバイトがあると提案され、電信詐欺の可能性があることを認識していたが、お金の窮していたことから知人を誘った上で詐欺アルバイトに参加し、他人名義のSIMカード、通信機器及びホテルの手配、海外からの通話中継を行うなどの行為を行ったという。

### コ 詐欺（青島市）

12月、黄島公安詐欺防止センターは、管轄内の市民の口座に異常な取引があることを覚知し、関連部門を通じて市民へ電話するも不通であったことから当事者との接触を図った。同市民の携帯電話は詐欺師による乗っ取り・遠隔操作によって電源を遮断することが不可能となっている上、約100万元の送金が行われていた。警察は携帯SIMカードの抜き取り、自宅Wi-Fiの切断によってネットから隔離し、関連部門を通じて送金先含む関係口座を凍結した。

### サ 結婚詐欺（青島市）

12月、城陽分局夏荘派出所は、結婚詐欺事件を検挙したと発表した。調べによると、女性の容疑者王某は、黄という偽名を使い、結婚仲介所を通じて絶え間なく男性と交際し、支出名目を偽って繰り返し借金を懇願していたが、一部の男性が不審に思い通報したところ、詐欺容疑で逮捕された。

### シ 詐欺（青島市）

12月、萊西市公安局詐欺防止センターは、管轄内の市民王某が虚偽株式売買イベントに参加し、詐欺被害に遭遇していることを認知した。管轄派出所の警察官が王某と接触したところ、現金10万元を送金する最中であったといい、指導の上、被害を防止した。なお、詐欺師は警察の覚知を逃れるため詐欺アプリインストール済みの新しい携帯電話を被害者王某へ送付していたという。

### ス オレオレ詐欺（青島市）

12月、嶗山公安分局は、高齢者を狙ったオレオレ詐欺事件を摘発したと発表した。調べによると、被害者王某は、息子を名乗る人物から「違法行為により解決金が必要で、指定した場所で捜査員へ現金を渡して欲しい。」との電話を受け、指示に従って自称捜査員へ現金10元を手交した。その後、本当の息子に電話したことによって解決金は虚偽と判明し、詐欺被害の通報に至ったという。

## (4) 交通事故・違反関連

### ア 交通事故

10月14日午後11時頃、聊城市において飲酒運転による複数人の死傷事故が発生した。公安の発表によると、被疑者杜某(37歳、男性)は飲酒状態で車両を運転し、複数の電気自転車と衝突したことにより8名が死亡、4名が負傷する事故を引き起こした。警察は杜某を酒酔い運転(血中アルコール濃度195.3mg/100ml)で拘束し、事件はさらに調査中としている。

## 海外安全対策情報

---

### イ 交通違反

- (ア) 11月3、4日、青島市公安交通管理市南区大隊は、不法改造に伴う小型バスの異常な排気ガスを確認し、検挙。運転手に200元の罰金。
- (イ) 10月24日未明、青島市市北交通警察は、飲酒して小型乗用車を運転していた運転手計2名を検挙。

### (5) その他

#### ア マネーロンダリング幫助阻止

膠州市居住の市民劉某は、身に覚えのない現金16万元が自身の銀行口座へ送金され、その後、面識のない人物から「誤送金したため、指定した口座に振り込んで欲しい。」との電話を受けた。直後に詐欺防止センターから不審な取引があるとの情報提供を受けた膠州市公安局膠萊派出所は、市民劉某に対してマネーロンダリング幫助への加担になるとの注意喚起を行い、指定口座への送金を阻止した。

警察は、素性不明の人物による誤送金を口実にした別口座への送金指示に従うと、犯罪組織が行うマネーロンダリングの一役を担うとして注意を呼びかけている。

#### イ 密出国（青島市）

11月、膠州裁判所は、密出国事件を審理し、被告3人に対して懲役1年10箇月から3年、執行猶予2年から4年の判決を下した。2023年、被告人邵某等は微信上においてイギリスでの不法就労に向けて観光ビザの代理申請、航空券、仕事の紹介などの手配が可能と発信し、誘客を行った。同年3月から9月、偽りの観光ビザ申請を行った5人が繰り返しイギリスを入出国していたが、そのうちの1人が再び青島膠東空港を出国しようとした際、出入境边防検査所において検挙されたことが事件の発端となった。

#### ウ マネーロンダリング（萊西市）

11月、萊西市公安局詐欺防止センターは李某の銀行口座に不審な取引があると覚知し、関連部門と連携して李某が資金洗浄行為に加担したとして逮捕した。調べによると女性の容疑者李某は、ネット上において自称軍幹部の男性と知り合い、相手の甘言によって恋愛関係へと発展した。その後、男性は口座からの現金引出は税金がかかる等の口実により、容疑者李某の口座を通して資金の振替、送金を持ちかけた。李某は、違法性を認識していたが男女関係を優先して相手方の依頼を引受け、現金引出、第三者への資金振替、金購入など数万元の資金移動支援を行ったという。警察は「電信詐欺グループは、指定口座への送金依頼や出し子などの援助を必要としている。このような行為への加担は詐欺グループ犯罪行為の重要な一役となるため、警察は厳しく取締りを行う。」と市民へ注意喚起している。